

造形作家

たま だ た き 玉田多紀展

呼吸するダンボール

7.2(土)～8.28(日)

金津創作の森美術館 アートコア

大型のジンベイザメやクジラ、伝説のシードラゴンなど、ダンボールで作られた躍動感あふれる生き物や植物の造形作品を、約80点展示しています。大人から子どもまで楽しめる玉田多紀展に、ぜひ、ご来場ください！

開館時間 10:00～17:00 (最終入場は 16:30)
休館日 月曜日/祝日の場合は開館、翌平日休館

※8月15日(月)は開館
観覧料 一般 800円(600円)、中・高校生 600円(400円)、小学生 400円(300円)、65歳以上・障害者各半額、障害者の介護者(当該障がい者1人につき1人)・未就学児 無料 ※()内は20人以上の団体料金

プレゼント

展示会にご来場いただいたお子さま(小学生以下)にパンダ型のペン立てキットプレゼント！

会期中の土、日、祝とお盆
[8月12日(金)～16日(火)]限定
※各日:先着20人



提供:レンゴー(株)



フォトスポットが
たくさんあるよ♪

catch&release 2015 ©Taki Tamada

関連イベント

玉田多紀の ミュージアムクルーズ

内容:玉田多紀氏による作品解説
日時:8月20日(土)14:00～15:30
会場:美術館アートコア ミュージアムー1

追加決定

要
展覧会
観覧券

ダンボールで造形ワークショップ

ダンボールで生き物をつくらう
日時:8月7日(日)
10:00～12:00、13:00～15:00
定員:各15人 参加費:1,000円
対象:小学生以上(10歳未満は保護者同伴)
講師:玉田多紀氏
会場:美術館アートコア ミュージアムー2
※定員に達し次第、受け付け終了
■申込み・問合せ:TEL.0776-73-7800

事前
予約制



ボクにwelcome 2015 ©Taki Tamada

夏休み特別体験

開催期間 | 7月16日(土)～8月31日(水)
対象 | 小学生以上(小学生は保護者同伴、未就学児は要問い合わせ)
※予約優先(空きがあれば当日でも受け付け可能ですので、お問い合わせください)

陶芸

蚊やり豚に絵を描こう！

素焼きの蚊やり豚に絵具で自由に絵を描きます。蚊取り線香付きで持ち帰ることができます！



料金 | 2,000円
(蚊取り線香1巻込み・1作品・税込)
受付時間 | 9:30～11:00 / 13:30～15:00
所要時間 | 約1時間
定員 | 各時間帯 1～20人
(10人以上の団体は要予約)
作品引渡 | 当日お持ち帰り可

■ 予約・問合せ / 創作工房 ☎ 73-7802

ガラス

風鈴絵付け体験

すりガラス状のガラス玉の表面にマジックペンなどで絵を描き、オリジナルの風鈴を作ります。



料金 | 2,200円(1作品・税込)
受付時間 | 10:00～12:00 / 13:00～16:00
所要時間 | 約1時間
定員 | 各時間帯 1～10人程度
(30人以上の団体は要予約)
作品引渡 | 当日お持ち帰り可
(30人以上の団体は後日受け渡しになる場合があります)

■ 予約・問合せ / ガラス工房 ☎ 73-7801

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

■ 発熱や咳など、風邪の症状が見られる人および、体調の優れない人はご来館をお控えください。
■ マスクの着用による咳エチケットや手洗い、消毒液による感染防止対策に、ご協力をお願いします。

- 月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
- (公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション(レストラン&森の結婚式) 問合せ アンビション TEL. 73-4141



金津創作の森 HP



金津創作の森 HP

大麦ストローでSDGs

◆6月16日(木) 伊井小学校

伊井小学校の全校児童がSDGsを学ぶため、地元で取れた六条大麦を使いストローを作りました。講師に株式会社大麦倶楽部の重久弘美さんを招き、物を使う責任や環境を守ることの大切さなどを学びました。ストローを作った児童は「早く家で使ってみたい」と嬉しそうに話してくれました。



迅速な行動で命救う

◆6月17日(金) 嶺北丸岡消防署



嶺北消防組合消防本部は、救命活動で功績のあった2人に感謝状を渡しました。市内在住の織田大原典子さんが、会社近くで倒れている男性を発見。職場の同僚である伊藤忍さんと一緒に心臓マッサージやAEDを使い、命を救いました。織田大原さんは「なんとか命を救いたいと、必死で救命活動にあたった」と話しました。

ご寄付ありがとうございます

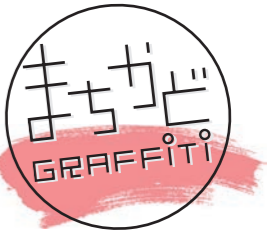
◆6月21日(火) 市役所



国際ソロプチミスト福井から、子どもたちの読書活動に役立ててほしいと、児童図書22冊を寄付していただきました。同会の藤井会長は「本に触れることで、さまざまな世界があると実感してもらいたい」と話しました。これらの本は、芦原図書館で借りることができます。

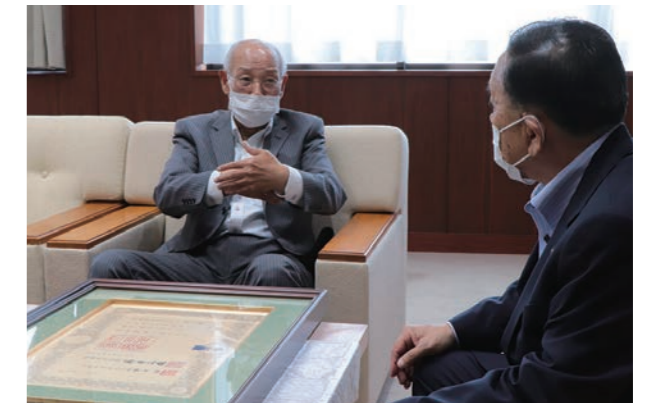
まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！

※ 新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、取材しています。



民生委員・児童委員として活躍

◆5月31日(火) 市役所



元民生委員・児童委員の二俣敏行さんが、令和4年春の藍綬褒章を受章しました。二俣さんは、平成10年12月から令和元年11月までの期間、同委員としてご活躍されました。この受章は、障害者やひとり暮らしの高齢者宅を積極的に訪問してこられたことや後継者の育成指導などの功績がたたえられたものです。二俣さんは「まさか受章するとは思っていなかった。大変光栄に思う」と喜びを語っていました。

あわら市初の道の駅

◆6月11日(土) 吉崎



あわら市初となる道の駅「連如の里あわら」の安全祈願祭と起工式が行われ、市長をはじめ、市議会議員や工事関係者ら約40人が参加しました。同施設には、トイレのほか、農林水産物直売所や土産物販売所、飲食スペースなどを設けます。森市長は「道の駅自体や自然、歴史、文化、食といった魅力的な地域資源を楽しむことのできる施設を目指している。多くの人に足を運んでもらいたい」と話しました。道の駅のオープンは、令和5年4月を予定しています。